

大谷中学校だより No.15



URL <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/NC2/> 平成28年3月7日発行 文責：藤谷



心身ともに万全の状態

卒業まで残すところあとわずかとなってきました。各自いろんな状況下にあると思いますが、入試は最善を尽くしてください。学力検査を受ける以上は最後まで努力を怠らないで続けてほしいものです。

出願者数も決まりました。学力検定で力いっぱい実力を発揮し志望校合格に向けて頑張るのみです。不安がらず、普段の学力テストのつもりでいどみましょう。

16日(水)の合格発表の日には全員笑顔で喜び合えるように油断せず学習しましょう。

卒業にあたって



卒業は、それまで生活を共にしてきた先生方や友達、思い出が詰まった校舎との、別れを意味するため、悲しみとともに語られる事が多いものです。しかし、同時に新たなる生活のための節目・出発としての意味合いもあります。3年生は中学校生活最後の行事「卒業証書授与式」に向けて、その式が最高の思い出になるよう、胸を張って歩み出せるよう練習を積み重ねていってください。感動的な式にしていきたいと思います。卒業証書授与式は自分たちが主役です。

新校舎での学校生活の様子

保護者の皆様には、寒い引っ越しの日にはたくさんの荷物を何度となく運んでいただきました。階段の上り下りは本当に大変な作業だったと思います。お疲れ様でした。おかげをもちまして新校舎でのスムーズな学校生活を送ることができています。特に待ちに待っていた三年生は、新校舎の明るさや木の香り漂う校舎・体育館の大きさや工夫でいっぱいの図書室に驚いていました。三年生にとっては残り少ない日々ですが濃密な時間を過ごしてください。少しでも学校生活の様子を写真でお知らせします。

おらっちゃんの大谷小中学校へ

校長 濱 育代

学校沿革誌を紐解くと「昭和22年5月3日石川県珠洲郡西海村立大谷中学校開校」「昭和23年5月15日大谷中学校清水分校本校に統合」「昭和29年7月15日珠洲市制が布かれて珠洲市立大谷中学校に校名改称」「昭和58年6月1日新築落成式」・・・本校には多くの先輩諸氏が築き上げた大谷中学校の歴史がこのように刻まれています。その間の卒業生は今年度の5名を入れて3297名。その珠洲市立大谷中学校が今年度をもって、69年間の歴史に幕を下ろします。開校した昭和22年は、戦後まもない時期であり、物資も食糧も未だ厳しい状況下での開校でした。当時の大谷中学校は独立校舎ではなく、大谷小学校と同居。そして飯田高校定時制大谷分校とも隣接しており、現在でいう小中高併設型中学校としての開校でした。昭和30年代には毎年100人を越える卒業生がいたほど大きな学校でした。そして、この69年間の時の流れの中に、一貫して根付いていたのが、「学校は地域の大切な宝物」「おらっちゃんの学校」の精神でした。本校には三世代家族が多いです。地域の方々にとって珠洲市立大谷中学校は、自分自身が通った学校であり、我が子が通った学校でもあり、そして今、孫が通っている、地域の核となる学校なのです。その証拠に、例年の卒業証書授与式の校歌斉唱では、生徒だけではなく、保護者の皆様方や地域の方々大きな歌声も響いています。

そんな「おらっちゃんの学校」が姿を変え、新たに歩み始める平成28年度。2月22日から一足早く新校舎生活を始めた小中学生。保護者の方々や青年団員・地域の有志の方々も引越作業に参加して下さったお陰で、段ボールの山に囲まれながらも、予定通り22日から新生活を過ごすことができました。

だんだん広場(ひな壇が1年生～9年生まで段々に設置されている交流広場・学力や体力、心の育みがだんだんに成長していくことを願って・また、だんだんという言葉にはありがたうや感謝という意味もある全校生の集いの場)で行われたオリエンテーションでは、「玄関に入ったら木の香りがしました。思いっきり深呼吸しました」「天井が高くって、ガラスがいっぱい、廊下に寝転ぶと青空が見えました」「廊下にベンチがいっぱい並んでいて、嬉しかったです」「体育館が広くてびっくりしました」「窓がいっぱいの図書館で、早く本が読みたいです」・・・と、続々と感想の声が続きました。新しい校舎にどの児童生徒も、満面の笑みでした。十日間たった今は、教職員の毎日の努力で段ボール箱は全て消え、小中の児童生徒が混ざり合う姿をあちこちで見かけられるようになりました。広い体育館は小中ごちゃ混ぜでドッチボールをやっているし、職員室では、小学校2年生の九九暗唱の相手を中学校の先生方が率先して行っています。そんな微笑ましい姿を毎日見かけます。そして、新しい校歌の練習も行われています。どうか、平成28年度から始まる「珠洲市立大谷小中学校・施設一体型義務教育学校」も、そして「新校歌」も、「おらっちゃんの大谷小中学校」として、地域に益々愛されることを願っています。



だんだん広場



図書室の様子です。いっぱい本を読むぞ



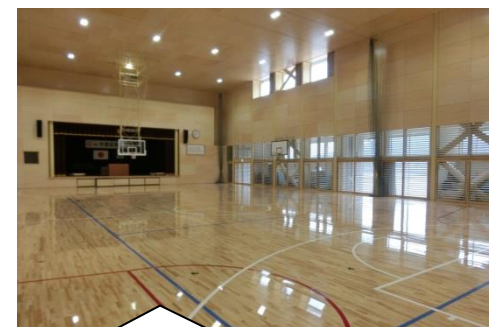
給食の再開を心待ちにしていました



狭い教室から、一気に広い教室になりました



職員室の入り口 朝の挨拶も一段と大きな声になりました



ピッカピカで今までの倍の広さの体育館 部活頑張るぞ

私達はこんなに本を読みました!!

図書・文化委員会では、「読書5000ページの旅」に取り組んでいます。一年間の読書総ページ数が5000ページを超えることを目標にしていました。今年度は16名中14名がクリアしました。

1. より賢くなれる

やりたいことがあるにせよ、なりたいものがあるにせよ、知識がなければ達成できないことも多くあります。読書は、自分が望むところへたどり着くための素晴らしい手段なのです。

2. 人生に潤いが出る

読書により、自分とは違った生き方や境遇の人たちのことを知ること、心に刺激が与えられます。私たちの人生の課題はそれぞれでしょうが、共通していると思われるのは「頑張っ、(自分の目の前にある試練を)乗り越える」ことの積み重ねを行っているということです。その乗り越えるプロセスやそのなかでの葛藤や必要なメンタル力を知ること、自分の人生の糧とすることができます。

3. 小さい頃からの読書で能力アップが可能。小さい頃から読書をする、将来仕事でも役に立つ能力のアップにつながるようです。

- (1) 集中力の持続時間が長くなる
- (2) 物語の理解に必要なスキルが得られる
- (3) 読書を通じて異文化への理解が深まり、共感する能力が育つ

4. 短時間でストレスの解消

心拍数などから検証したところ、「読書68%・音楽61%・散歩は42%」のストレス解消効果が現れたそうです。

来年もいっぱい読書をする大谷中学校の伝統を引き継ぎましょう。

読書量ベスト10

國永 鮎美	28140
金田 奈々	21395
井上 紗来	18654
堀田菜々子	16124
濱 海翔	11922
水上 嵩斗	11429
木村 暖季	11344
浦 杏寿	11058
垣内 和馬	9339
金田 そら	8004



3月行事予定		
1日	火	安全点検 生徒会委員会
2日	水	小中合同集会
3日	木	入学説明会 ※PTA理事会
8日	火	学力検査〔一日目国・理・英〕 1・2年期末テスト①
9日	水	学力検査〔二日目社・数・面接〕 1・2年期末テスト②
14日	月	第69回卒業証書授与式 10:00
16日	水	高校入試合格発表
17日	木	小学校卒業式
19日	土	Yカップ(バスケ参加)
21日	月	春分の日
24日	木	落成式・修了式・離任式

一意専心…他のことを考えずその事

だけに心を集中すること。

座右の銘…自分の戒めにする言葉

昨年、七尾高校の招待試合にバスケット部が行って来ました。新しくなった体育館のステージに「一意専心」と高く掲げられた部旗がありました。高校受験に向かう皆さんに、ちょうど良い言葉だと思います。

1・2年 漢字博士コンテスト 全員合格

1・2年 数学博士コンテスト 全員合格

社会重要語句コンテスト 優秀賞

- 1年：国永 宮前
- 2年：浦 金田そ 金田奈 水上 木村
吉岡 吉田
- 3年：井上 宮前 亀山

理科重要語句テスト

1・2・3年 全員合格

第27回石川県読書感想画コンクール

優良賞 2年 浦

3月24日 落成式に引き続き

3月26日(土) 13:00~

14:00~

3月27日(日) 13:00~

14:00~

の各時間、新しい校舎の内見会を予定しています。地域の皆様方、どうぞ新しい校舎を見に来て下さい。



PTA新旧合同役員会の開催報告とお礼

平成27年度も残りわずかとなりました。学校では来年度の構想と引き継ぎの時期となってきましたが、PTA組織も来年度の役員顔ぶれが出揃ったようです。本年度の役員皆さん、引越など例年になく活動も多い大変な年でした。一年間ありがとうございました。

今後も大谷小中学校のPTA活動にご協力をお願い致します。また、来年度の役員になれる方々、義務教育学校開始の大変な年になるにもかかわらず、快く役員を引き受けて頂きありがとうございました。

近年、生徒の健全育成のためのキーワードは、学校・保護者・地域との連携だと言われています。「様々な教育課題を達成するにはPTAの方々のご協力なくして不可能である。」と言っても過言ではありません。来年度は東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会が大谷小中学校を中心に珠洲市4会場で行われます。200人以上の参加が見込まれています。学習の発表だけでなく伝統的な芸能もアトラクションとして準備しなければなりません。

何かとご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

お知らせ

来年度PTA役員

- 会長 濱 幸治
- 副会長 垣内 和彦
- 母親代表 吉田 昌子
前山 春奈
- 書記 川端 孝
- 会計 番匠さとみ

保護者の皆様二年間ありがとうございました

二年間家庭と学校をつなごうと発行してきた学校便りも最終号となりました。学校の様子や日程などは伝わったでしょうか。特に気をつけていたのですが、誤字や脱字等があったと思います。お許しください。学校便りの重要性を毎回感じながら構成や内容を考えていましたが、限られたスペースで、いつも、もどかしく思っていました。でも、生徒や先生方の協力のおかげで、毎回、いろいろな内容を発信することができました。

二年間のお便りを読み返してみても、保護者の方々や地域の方々の、学校に対するご協力、ご理解、そして、ご指導の深さを改めて感じました。

約35年間の自分の教員生活もあとわずかとなりました。大変お世話になりました。ありがとうございました。今後ますますの大谷小中学校の発展を願っています。 藤谷

